



題字 足立区長

足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会 長 中田貢弘
編 集 広報部会
発行日 2006年11月1日
〒120-8510
足立区中央本町 1-17-1



水あそび 綾瀬小2年 室伏めい 作

目次

全 員 研 修 会	2
祝 藍 綬 褒 章 受 賞	3
若 者 サ ポ ー ト	4
介 護 っ て な あ に	5
子 育 て 応 援 団	6
編 集 後 記	8

感 謝

足立区民生・児童委員協議会会長 中田貢弘

私の心の師 高田好胤先生は、「随喜善 他人の喜びを、わが喜びとする」とあり、我々民生・児童委員こそ、その精神であると思います。おかげさまで活動記録提出率も21ヶ月連続提出という快挙も続けさせていただいております。私をお支えいただいている各委員の皆様へ感謝を申し上げる次第です。また、東京都市町村会長においては、5ブロック(写真参照)の浅野会長のもと、結束して努力しております。

大のイベントであり、皆様にもお手伝いいただくことになると思います。「一期一会」、そのときに居られることに感謝し、私の挨拶とさせていただきます。

さて、いよいよ来年は、民生委員制度創設90周年にあたり、7月5日・6日に日本武道館で90周年式典が開催されます。全国民生委員児童委員連合会会長(東京都民生児童委員連合会会長)大澤義行先生の提言である「災害時、一人も見逃さない運動」を推し進めていきたいと思っております。今期の思い出に残る最



左より 江戸川区中代守会長 中田貢弘会長 墨田区田中三伊会長 鈴木恒年区長 江東区浅野繁会長 葛飾区大谷隆興会長

みのり豊かに 足立区民生・児童委員協議会 全員研修会 開催



中田会長



鈴木区長



しのはら区議会議長

8月23日、西新井文化ホールにおいて全員研修会が開催されました。さくら色のユニホームに身を包んだ千寿桜小学校の児童の皆

さんによる吹奏楽により、「わがまち足立」の合唱で幕が開きました。民生委員信条の朗読、開会のあと中田貢弘会長の「心豊かに民生委員活動を」と、ご挨拶がありました。また、鈴木区長より「安全安心のまちづくり」に尽力いただきたいとのお話をいただきました。しのはら区議会議長より「64万区民のためにさらなる活動を」との励ましのことばを頂戴いたしました。そのあと、広報紙「さくら」への絵画の掲載



感謝状を手に喜びの受賞者

協力に対し、15人の児童に感謝状と記念品が贈られました。東測江小6年坂本朝香さんは家族総出で晴れの贈呈式に出席され「絵を描くことは大好き。今日のことは忘れられない」と話してくれました。また、中川小6年山口大介さんは「とってもうれしかった。これからも頑張りたい」と満面の笑みを浮かべ、インタビューに答えてくれました。その後、消費者センター山田所長により事例をまじえた「悪質商法から高齢者を守る」と題した講話をしていただきました。

第2部では、元30代木村庄之助様による講演が行われました。——父に無理矢理行司にならされ、最初は恨んだが最終的には感謝をした。また、師匠や弟子に恵まれ運のよい人生であった。大変な思いをしながら栄光を手に入れたのだが、それを苦勞したとは思っていない。——木村氏は足立区にお住まいということを知り、普段聞くことのできない相撲界のお話をとても親近感を感じながら拝聴させていただきました。

当日の全員研修は多くのご来賓の方々のご出席をいただき、盛りだくさんの内容でみのり豊かに終了いたしました。

(鹿浜地区 野辺陽子 記)



元木村庄之介氏

避難指示解除の三宅島を訪ねる

私は、平成12年12月から避難者Mさんと4年余り関わりをもちました。Mさんが帰島して1年になり、大分落ち着いたので是非来島して実状を見て欲しいと再三の連絡を受け、思い切って6月上旬夫婦で出かけました。

下船した途端、鼻をつく臭いにハンカチを当ててしまいました。雄山の火口より火山ガスの放出が続いている高濃度地域では、家屋の天井は焼け落ち、金属部分は腐っていました。降灰により樹木は枯れ木の林と化し、野草は葉が白く焼けている惨状でした。それでも雑草は遅く茂っています。このような中でも、復旧に励んでいる人びとが至

る所に見受けられます。また、整備された道路、青い海、ブラックサンドの海岸で釣り、ダイビング、バードウォッチングなど自然観察をしている人達もいました。島の花ガク紫陽花と樹木の緑が島を包んでいます。天然記念鳥アカコッコに会い幸福でした。人情味温かな島民の皆様に触れることができ、また、自然の美しさに感激しました。日に何回となく警報器が鳴りますが、皆さん元気に頑張っている姿に感銘しました。一日も早くガスの無い島になりますことを祈りながら2泊3日の旅をしまりました。

(3地区 山中澄子 記)

活動記録 提出率 100% (6,529名) 達成!

足立区民生・児童委員協議会

会長 中田貢弘

昭和23年民生・児童委員制度ができ、委員は活動を報告する責任が課せられました(このデータが国の指針となります)。

上記により民生・児童委員は毎月、区に活動報告を提出する義務が課せられており、その報告は区を通して東京都、そして国(厚生労働省)へ至ります。その提出率に関して足立区は23区の中でも20番以下が当たり前でした。大原誠之助前連合会長は、「何としても足立区を精神的に心豊かにしたい」と私に後任を託されました。前連合会長の「心を心」として5年前の着任以来、24名の地区会長に協力をお願いし、行政においては石川福祉部

長(現政策経営部長)、斉藤福祉管理課長(現教育委員会教育事業担当部長)を始めとした区職員のご協力を得て、委員各位の自己啓発に皆で努力して参りました。そして、丸山福祉部長(2年目)、岡野福祉管理課長(3年目)の今年、見事にその皆様の努力が花開き、延べ6,529名という100%の提出率を達成いたしました。これは全委員の心からのご協力がなければ出来なかったという快挙であり、提出率において、千代田、江東、中野、北の4区に肩を並べたと考えております。以上、ご支援いただいた各位にご報告し、今後ともお力添えいただくことを願って全ての方に感謝し、お礼といたします。

参考：活動報告100%達成区は足立 千代田 江東 中野 北の各区

足立区は活動記録提出100%継続を目指します

祝— 藍綬褒章受賞



このたび、私事、春の褒章に浴し、はからずも、藍綬褒章を賜りました。5月17日厚生労働省にて伝達の拝受、皇居にて天皇陛下に拝謁の栄を賜りました。感激の極みでございます。

これもひとえに多くの関係者の方々の深いご指導とご協力の賜であります。心から厚く御礼を申し上げます。民生・児童委員拝命の昭和51年頃は共稼ぎが急増し生活が豊かになりました。その反

面、カギツ子問題が浮かび上がり、校内暴力、家庭内暴力、登校拒否、また、生活福祉にとどまらず、教育とそれを取巻く環境改善に傾注し、近年急増する高齢者の諸問題と時代に大きな変化がありました。それに対し私はどれだけお役に立てたかと思っております。変わらぬご指導ご鞭撻を賜り、今後とも微力ながら精進してまいる所存でございます。誠にありがとうございました。

(第六合同 会長 高波登利子)

銀河鉄道の夜 シアター1010



平成18年6月9日シアター1010において、わらび座ミュージカル『銀河鉄道の夜』を民生・児童委員全員で鑑賞しました。きらびやかな衣装や歌に踊りに新しいアレンジで、美しい装置や幻想的な照明、満天の星の中にあるようで、とてもステキでした。楽しく観劇させていただきました。終了後、

中田会長の挨拶があり、「シアター1010は、6月から新しく生まれ変わり、足立区民生委員協議会でお世話に

なった方がたが担当になった。足立区にも文化芸術のこのような劇場ができたことを皆さんに宣伝してもらいたい」とのお話がありました。その後、斉藤教育事業担当部長から、「足立区は多くの小・中学生に見てもらっているのだから、家族みんなで『銀河鉄道の夜』について語り合っていたきたい」とのご挨拶がありました。最後に、丸山福祉部長より「豊かな劇場に接するのは良いことである」とのお話がありました。

(9地区 角田千恵子 記)

奉納子ども角力大会

舎人諏訪神社の祭礼は、8月27、28日と決まっています。明治の頃より8月27日には相撲が奉納されていました。明治の末期は相撲が最盛期で、埼玉、千住、葛飾あたりからも参加があり、素人相撲ですが、大和川西蔵とか、足立山鷹十郎という四股名を持ち、立派

なまわしをつけて名を轟かしていたそうです(足立史談会会員斉藤熙様談)。

近年は、舎人に境川部屋ができたので親方(元両国)をはじめ岩木山、寶智山ほか大勢の協力があって、子ども達は力士の胸を借り“ぶちかまし”の稽古をつけてもらっています。親から子へと続いてきた奉納・子ども角力大会は活気あるすばらしいものとなっています。

(14地区 森脇久仁子 記)



第四合同8地区にOB会ができました

8地区には退任された、民生・児童委員の方がたが15名おられます。その皆さんが今までの経験を生かし、少しでも社会福祉の増進に寄与しようとの趣旨でOB会が設立されました。

1年間を費やし、名称・規約・行事・役員などを決め、7月30日に西新井大師門前の中田屋さんにおいて、阿出川会長を始め現任委員も出席して、設立総会を開催し原案通り承認されました。OB会の会長には元会長の田中茂さんに決まり、他の役員の方皆さんも意欲満々で張り切っておられました。総会の後は久しぶりにあっ

た懐かしい顔と顔に時間の経つのも忘れるほど、楽しい懇親会となりました。他の地区ではOBの方が少なく、会を作れないそうですが、この会はOB・現任の垣根がなくスムーズに入れるOB会が信念で、現任の方も事務局として協力しております。両者のコミュニケーションもよくなり、社会の皆様にも少しでも貢献できればと願っております。そして、次回の行事を楽しみに会場を後にしました。OBの方には地域社会のためこれからも健康に留意され、後輩の指導をしていただきたいと思ひます。

(8地区 茂木芳治 記)

広げよう 地域に根ざした 思いやり

民生委員制度創設90周年スローガン

雇用創出特区 あだち若者サポートステーション



去る5月22日、東京芸術センターにおいて、「あだち若者サポートステーション」のオープニングセレモニーが開催されました。記念式典の後、宮本みち子放送大学教授の「若者の自立を支援する」と題した講演が行われ、多くの民生・児童委員の皆さんの出席をいただきました。改めて厚くお礼申し上げます。

職につかない、働かない、フリーターを繰り返す等、職業訓練もしない生活基盤を見出せない若者は、全国に200万人とも300万人とも言われています。これからの社会を背負って立つ青年が不安定な状態にいることは、単に青年の問題だけではなく、晩婚・非婚・少子化等大きな社会問題へとつながっていきます。

平成12年の国勢調査では、足立区の失業者は19,405人と23区で最大でした。特に15歳から19歳の若年層は14.7%と極めて高率でした。平成15年には、政府の特区事業により民間人材ビジネスを利用した「雇用創出特区」をスタートしました。庁舎内でハローワークとリクルートが協働で職業紹介のできるワークセンターの開設、若年層向けには、平成16年、ヤングジョブスポット北千住、平成17年「あだちヤングジョブセンター」の開設と就労支援を強化してきました。直接の就職斡旋の場の提供

と就労支援へと展開してきています。

しかし、景気が回復してきたといわれる平成18年の労働力調査でも失業率は平均4%と改善したものの、若年層8.2%と若年層の失業率は依然として高く、且つ、不安定雇用が増え、正規労働者の割合は減少してきています。

「働きたいと思っているけどうまく就職できない」「何かを始めたいと思っているけど、どうしたらよいかわからない」「自分とはどんな仕事合っているのだろうか」「対人関係が苦手だから……」「バイトを転々として働く自信がなくなった」「正規の採用が少なく、とりえずフリーターになるしかない」等悩んだ時、迷った時こそ、あだち若者サポートステーションが個人個人に合った相談をお受けします。ひとりで悩んでいないで気軽に相談してください。同年代のスタッフがみなさんをお待ちしております。

ご近所で、まちなかで、親や保護者からちょっと相談を受けたら、下記の電話番号を教えてください。

「あだち若者サポートステーション」北千住

東京芸術センター8F TEL 03 (3882) 4307

FAX 03 (3882) 4305

(足立区産業経済部就労支援室 川嶋新一 室長)



千寿第五小
藤島美穂 1年
作

みんせいかわらばん

長門夏祭り開催 (長門小)

今年も夏休み最後の土曜日に「長門夏祭り」が行われました。長門小学校の校庭には、手作りの櫓や子ども会の夜店、地域の方、先生方の店もあります。1枚60円の金券でどれでも買えます。校庭では浴衣を着て、盆踊りを踊ったりヨーヨー釣りや金魚すくいを楽しんでいる子ども達を見ることが出来ます。前列の子の様子をじっと見ている子、欲のない子、真剣にやる子、子

ども達の表情もさまざまです。ひととおり食べたり、遊んだりすると校庭は暗くなり打ち上げ花火・ナイアガラなど、歓声と光の中、たくさんのお土産を持って帰ります。毎年約600人近くの方が楽しみにしています。準備する方は大変ですが、多くの子ども達に会えるので、やりがいはあります。

(18地区 藤掛京子 記)

あだち若者サポートステーションの開設

平成18年5月22日あだち産業プラザにおいて(あだち若者サポートステーション)の開設式典が開催されました。鈴木区長、新井議長、鴨下衆議院議員がお祝いの挨拶が述べられ、足立区と特定非営利活動法人青少年自立支援事業として開設された事を語られました。続いて放送大学教授宮本みち子先生の記念講演です。「若者の自立を支援する」と題し、就労の不安定化、雇用流動化、親への精神的・経済的依存の長期化等、若者の自立をめぐる問題状況を話されました。そして、この事業が若者の力強いサポーターとして発展されることを期待して拍手を送られました。講演後は、「アツキヨ」のミニコンサートで楽しませていただきました。

(3地区 小菅實 記)



東綾瀬小
百本亮馬 2年
作



介護ってなあに・・・グループホーム内覧会



弥生小 5年 光井 紗貴 作

統廃合により解体された旧三中跡地に、高齢者グループホーム「千住さくら」が7月1日開設しました。この度、開設に先立って行われた内覧会に参加しました。

このグループホームは認知症高齢者のためのホームで、2階建て全室個室、18名収容です。介護保険の改正に伴い足立区在住の方のみ入居となりました。「自宅にいるような感覚で過ごし、自分

のリズムで持てる力をより活かし、楽しい生活ができるようお手伝いします」とのお話でした。内覧会では近隣町会役員をはじめ、たくさんの地域の方が熱心に質問をしていました。

ホームではボランティアも受けたいとのことでした。また来年9月には隣りに特別養護老人ホーム「千住桜花苑」も開設予定です。

(5地区 松本はな子 記)



それから40数年・・・

さくら9号(17年11月1日発行)記載の「それから40数年・・・」文末の「つづく?」が広報部会長の目にとまり、再登板と相成りました。

それから40数年にあたる昨年は、民生・児童委員の皆さんとの連携強化のため民協7合同と福祉事務所7課長による「5所7課体制」がスタートしました。

おかげさまで、ケース定期訪問や懇談会で、受給者の状況把握や自立支援により、今、地域福祉の見守り機能は飛躍的に向上しています。

こうした民生・児童委員と福祉事務所の連携は、全国的にも先進的な取組み事例として注目され、都民連だより4月号にも掲載され、いまなお、足立区には全国の福祉事務所から視察が相次いでいます。

あらためて、皆様の地域福祉への弛まぬ熱意と粘り強い取組みに、心から敬意と感謝の気持ちを申し上げます。

～追記～

さて、昨年の研修旅行の続きを、《綾小路きみまろの口調で》あれから40年、可愛いマーガレットの寝息も今じゃ高イビキ、スマートなウィリアムはメタボリック、いまや互いに中高年。で～も、年を重ね、物忘れがあったとしても、若いふたりの想いはそのまんま、そのまんま、ハイッ、ハイッ。ってかア～。

(中部福祉事務所 遠藤吉夫 所長)



五反野小 3年
佐々木 有里 作

さくらにゅーす

土曜事業サタデーCスクール

今年の開講式は六月二十四日に各校の校長先生、地域の代表者、ご来賓が出席して盛大に行うことができました。アトラクシオンには国際交流の一環としてモンゴルの馬頭琴演奏者ライ・ハスラーさんを



(13地区
弦巻裕子 記)

サタデーCスクールは高野小学校・江北小学校・扇小学校・江北中学校・上沼田中学校の五校合同で行っています。今年で四年目をむかえ会場校は上沼田中学校を借り、毎月二回土曜日に開催しています。この事業は地域の子ども達が有意義に土曜日を過ごせるように地域のボランティア、各小中学校のPTAが中心となって運営されています。

迎え、すばらしい演奏をしていただきました。参加者全員がその美しい音色に聞き入っていました。

スクールでは物作り、書道、茶道、漢字検定、パソコン、読み聞かせ、英語教室があります。地域のボランティアの協力を得ながら、学校・地域が一体となり子ども達を見守って行きたいと思いません。



平成18年の年明け早々、地域の子どもたちに関わる関係者の方がたと一緒に思春期の子どもたちの実態と、その子達に関わる大人はどう働きかけたらいいのかを学ぶ講演会「大人が伝える性と生」を開催しました。

きっかけは、「13歳の子どもの出産」でした。どうしても墮胎できなかったのか？ 誰（本人さえ）も妊娠に気づかないまま、墮胎できない時期になっていました。なぜ誰（本人）も気づけなかったのか？ 私たちの常識を超えた出来事でした。岩室信也先生（泌尿器科医）の話を聞いているうちに、私たちの「なぜ？」に対する答えが見えてきました。今の時代は、大人も子どもも関係性が喪失している。最も急がれるのは「関係性の再構築」です。以下は岩室先生の講演内容を記載します。

《現代の若者たちの特徴》

- ① コミュニケーション不全：若者のコミュニケーションはメール・チャット・カラオケ・ゲーム・携帯、さらに普通の会話が苦痛。でも、誰かと居たい＝セックス（セックスもコミュニケーション。「する？」「うん」）。情報はテレビ・インターネット・マンガ、その性描写が正しいと思ひ込む。すべてが自分の部屋で一人で触れる情報。
- ② 待てない、我慢できない：携帯は我慢させない人を作る。相手の立場、状況が想像できない。ところであなたはメールの返事を何分待てますか？
- ③ ストレスを経験せずに育つ：二次性徴は、初めて経験する大きなストレスのはずだが、そこから逃げてしまうとセルフコントロール能力が育たない。だから、

若者が犯す殺人に動機なんかない。思うように行かないこと、自分の失敗・挫折は、すべて相手（人）のせい。自分が人を殺したら、ほかの人が悲しむ、迷惑をかけてしまうということが想像できない。

《周りの大人ができること》

- ① 例えば露骨な性描写の本を見て、それが普通、当たり前と考えている子どもたちに、大人が読んで「この表現はひどい。不快だ」と伝えること。
- ② 子どもともっと話をして欲しい。考え方が違ったら、どうしてそう思うの？ と質問して、自分はこう感じる、考える。と説教でなく話していくことが大事。
- ③ 小さい子どもたちは話したいのに、「じっとしていなさい」「静かにしていなさい」ではコミュニケーション能力は育たない。

今回の講演は、まず、子どもたちに声をかけることから始めていきたいと感じたお話でした。

（竹の塚保健総合センター 保健師 小林智春 記）



東加平小 5年
宇野澤 歩美 作

とびっくす

がけがわ

圀川じゃぶじゃぶ作戦

川に囲まれた六木・神明地域は昔から川を治め、川を利することは運命共同体であったと考えられます。この地に育つ六木小学校と第十三中学校の子どもたちは地域の方がたと共に「圀川じゃぶじゃぶ大作戦」という環境保全活動に小中連携で取り組んでいます。「昔のようなきれいな圀川」「子どもたちが安心して遊べる圀川」をめざし、水質検査、EM菌入り団子づくり、空芯菜*（く

うしんさい）づくりは中学校から発信しました。小学校では、川を汚さないさまざまな取り組みを進めています。日常生活で環境にやさしい暮らし方への意識改革



は子どもたちから家庭に、そして、地域の方がたと広がっています。たとえば、シャンプーの出る量を少なくする工夫、洗剤を使わなくていいアクリルたわしの作り方の講習会、米のとぎ汁で作ったEM活性液の川への投入、などの実践活動やその活動をポスターや看板にしての地域への広報活動を進めました。

小学校6年生の総合的な学習の時間に学んだ「圀川」を中学に進んでも総合的な学習の時間で活動が続けることとなります。小中の連携活動は自分たちの心のふるさとを大切にする地域の子どもとしての生き方の学びでもあるのです。

（足立区立六木小学校 入野勢津子 校長）

*空芯菜、中国原産と言われている。一見するとサツマイモの蔓のようであるが、茎が名の通り空洞になっている。日本での名前は確立しておらず、エンサイ、カンコン、空芯菜、アサガオナなどと呼ばれているが、同じ物である（インターネットより）。



子育て応援団 → 知っていますか ハチさん運動

83 movement

83運動
7時から3時に子どもの登下校を見守る
おやじ日本

今、子どもが犠牲になるいたましい事件が多発しております。全国的に子ども支援活動を展開する「おやじ日本」(竹花会長=前都副知事)の83(ハチさん)運動に足立区小学校PTA連合会(市村智会長)も賛同し、区内にポスターを貼るなどして啓発に努めています。

朝8時は子どもの登校、午後3時は下校時刻

この時間帯に、地域の大人はなるべく、家から出て犬の散歩や掃き掃除などを行い、子ども達の見守りをしようというものです。自発的に「見守り」を心がけていきましょう。

赤ちゃん広場

五反野コミュニティーセンターにおいて「赤ちゃん広場」を始めて7年目になります。毎月第2金曜日に健康推進委員を中心に、中央保健所の保健師をまじえ、0歳～1歳6カ月の子を持つ母親のためのコミュニケーションの場として開催されています。「赤ちゃん広場」には多い時で40組前後の母子が集まります。毎回楽しみに友達を誘い合ってくる若いお母さん、「初めてです」と不安そうな顔でくるお母さんもいます。保健師さんの手あそびや、離乳食のこと、夜泣きすること、ミルクの飲みが少ないなど困っていることなどの相談に応じています。推進委員の行う、大きな絵本の読み聞かせや母子でするスキンシップ体操、お母さん同士のおしゃべり、

どれもが参加者の目をキラキラさせます。「楽しかった、また来ます」と晴れやかな笑顔で帰っていく姿を見ると、とてもすがすがしい気持ちになります。やすらぎの場をつくり、人と人とのつながりを持つことで子育ての楽しさ、すばらしさを感じていただけたらと思っています。



(6地区 小林勝子 記)

みんせいかわらばん

新田高校野球部ベスト4 → 夏の甲子園大会・都予選

「汗水流し、泥にまみれて広がる可能性」

「足立新田 初の4強」、大新聞の見出しに本校の名前が大きく掲載された。思いもかけない野球部の活躍に、地域の方々がまるでふるさとを紹介されているかのように喜んでくださいました。日を追うごとに増える激励の電話、メール、手紙、そして、野球場にまで応援に来て

くださいました。改めて高校野球の持つ影響力の大きさを知りました。この紙面をお借りして皆様方に御礼を申し上げます。本校は、野球部のほかにも、相撲部の4年連続、陸上競技部の2年ぶりの全国大会出場をはじめ、部活動が盛んです。

汗水流し、泥にまみれて頑張る姿に子どもたちの可能性を感じます。これからも地域の皆様に、夢を与えられる学校づくりに努めてまいります。

(都立新田高校
荒川兼一 校長)



北三谷小 2年 高橋麻起 作

民生委員・児童委員

災害時一人も見逃さない運動

民生委員制度創設90周年スローガン



民生・児童委員協議会からのお知らせ

日程	会議名	場所
11月10日(金)	会長協議会	青少年センター第一会議室
11月13日(月)～20日(月)	合同協議会	区役所13階会議室
11月22日(水)	東京都民生委員・児童委員大会	文京シビックホール
12月8日(金)	会長協議会	区役所13階会議室
(平成19年)1月12日(金)	会長協議会(新年会)	
1月中旬～下旬	合同協議会(新年会)	
2月9日(金)	会長協議会・受賞者祝賀会	区役所13階会議室・14階ピガール

足立風まつり 天まであがれ!!

9月9日荒川河川敷虹の広場で、第7回足立風まつりが盛大に行われました。当日は真夏のような猛暑で、しかもあいにくの無風状態でしたが、空高く風を揚げようと子どもたちは一生懸命でした。思い思いに創意工夫された駒風は、小学生たちが夏休みに、本物の和紙と和竹を材料に作ったもので、絵柄を各自が心をこめて描いたということです。

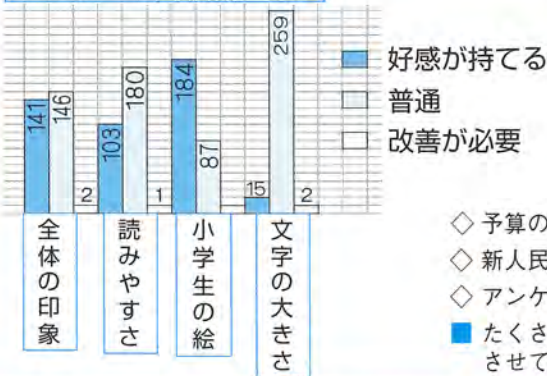
日本の伝統工芸を継承し、普及していこうという「足立風まつり実行委員会」の心意気が十分伝わってくる催しでした。入賞者は次のとおりです。

(敬称略) 足立区長賞(西新井第一小5年 石居沙良) 足立区議会議長賞(千寿桜小3年 寺尾祐紀) 足立区教育委員長賞(本木小1年 朝倉涼夏) 日本風の会会長賞(湖江小6年 長田大空) 名誉実行委員長賞(六木小5年 阪内博紀) 他



全員研修会アンケート結果

アンケート回収数 389



広報紙についてどんな見方をしますか(複数回答)

- ① ぱらぱらと見る..... 31
- ② 一応さっと見る..... 180
- ③ じっくり腰をすえて見る..... 53
- ④ 大事にとっておき後で見ようと思っている... 90
- ⑤ 内容が素晴らしい..... 34

- ◇ 予算の関係もあるかと思いますが、児童の絵画はぜひカラー化して欲しい。
- ◇ 新人民生委員には広報紙は貴重な情報源です。
- ◇ アンケート記入には時間が必要。会場での収集ではなく民協の時がよい。
- たくさんのご意見をありがとうございました。紙面の都合上、一部を抜粋させていただきました。

編集後記

おかげさまで12号の発行となりました。“みんせいかわらばん” “さくらにゆーす”では、学校と地域のかかわりや、各地区民生・児童委員としての取り組みなどを掲載してきました。身近な出来事、心に残る話

題など、原稿をお寄せいただければ幸いです。全員研修時のアンケートなども参考にしながら、情報交換の場「さくら」になるような紙面作りを目指して、部員一同頑張ります。ご指導ご協力のほどよろしく願い致します。(広報委員 加藤喜代子 記)

広報紙 掲載絵画の展示を行います ● 会場 区役所ロビー (11月10日から17日まで)

■ 掲載絵画依頼は第一合同から第七合同の小学校に順番でお願いしております。

■ 皆様の原稿を募集いたします(原稿は未発表のものに限ります)。次号発行予定日 3月1日
原稿に関しては紙面の都合がございます。事前に地区広報委員にご相談ください。

広報部会	部会長	平田 幹明	副部長	高野 幸男	会計	宮本 勝男	須田 陽子	飯泉 節子	書記	大澤 稔	編集	細井 力造	校正	田中 榮一	編集委員	渡邊 正勝	川島 恵美子	角田 千恵子	茂出 木幸子	森脇 久仁子	田中 千恵子	塩田 博昭	北嶋 昭夫	校正委員	小菅 實	大久保 義子	松本 はな子	大城 忠男	山崎 久勝	内藤 久子	加藤 喜代子	野辺 陽子	下田 尚保
	部員																																